



東京文化発信  
プロジェクト

2011年(平成23年)1月18日(火)  
六本木アートナイト実行委員会

【NEWS RELEASE】

## 六本木アートナイト2011 街中でのプログラム続々決定！

2011年3月26日(土) 10:00~3月27日(日) 18:00  
オールナイト開催

六本木の街を舞台とした一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト2011」が、2011年3月26日(土)10時から、3月27日(日)18時まで開催されます。このイベントは、東京都と東京都歴史文化財団が行っている東京文化発信プロジェクトの一環です。

「六本木アートナイト」では、六本木の街を舞台に様々な作品が登場、日没から日の出までの時間帯を中心に、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館をはじめ、美術館、飲食店、ギャラリーなど六本木の街の様々な場所に一夜限りのアート作品・イベントを展開します。特に、通常は開館していない夜の美術館や施設、そこで開催されるイベントが楽しめるのは六本木アートナイトならではの特徴です。

六本木の街中で展開する「広域プログラム」では、水玉をモチーフにした作品が印象的な前衛芸術家の草間彌生の参加と、「六本木アート御輿プロジェクト」の開催が決定しました。

草間は新作プロジェクト「愛はとこしえ、未来は私のもの！」を発表します。また、お祭り気分を盛り上げる「六本木アート御輿プロジェクト」では、気鋭のアーティストが作品を制作するほか、六本木の街を賑やかに練り歩く御輿の制作や担ぎ手として、一般の方にも参加していただけます。(詳細はウェブにアップ予定)

また、今回のテーマは「明日を拓くアートの力」に決定しました。このテーマには、「現在の日本の停滞した状況を鑑み、それを打破していく」という意味が込められています。

### 六本木アートナイト 実行委員長

南條史生(森美術館館長)



六本木アートナイトは、多くの方々の協力を得て、今年で3回目を迎えることになりました。前回のアートナイトは、70万人もの方々にご鑑賞いただき、実行委員長としてこのイベントの持つ可能性に大きな手応えを感じることができました。

今日、日本の多くの地域がアートによる様々な試みに取り組んでいます。昨年、名古屋の街で開催された「あいちトリエンナーレ2010」や、瀬戸内海を舞台に開催された「瀬戸内国際芸術祭2010」などは、その代表的な例ですが、六本木アートナイトは、たった一晚のイベントにもかかわらず、それらを超越する人気を博したと言えるでしょう。

今回の六本木アートナイトでは、国際的に評価の高い草間彌生が、大型の新作を発表するほか、アーティストがプロデュースした「アート御輿」が登場し、観客の参加によって夜の六本木を練り歩きます。また、そここの街角に趣向を凝らした作品が設置され、見慣れた街が驚きと楽しさに満ちたワンダーランドに変わります。アートは今や美術館やギャラリーから飛び出して、街の中で人々と対話し、人々の生活と共に歩んでいるのです。

時代はアートとともにあります。これからの日本をソフトパワーで再生し、東京を文化的に最も豊かで洗練された街として、世界に向けて発信しましょう。そして、みなさん、東京の未来をアートで拓きましょう。

報道関係の皆様からのお問い合わせ先

六本木アートナイト実行委員会 プロモーション・PR事務局  
(株式会社サニーサイドアップ内) 担当: 山下(080-3535-9059)/今井  
TEL: 03-6894-3200/FAX: 03-5413-3050/MAIL: r-artnight@ssu.co.jp

# 六本木アートナイト2011

## 開催概要

- 正式名称: 六本木アートナイト2011
- 基本理念: 『六本木アートナイト』は六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、イベントなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験を作り出します。  
そして、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案します。また、アートと街が一体化することによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街作りの先駆的なモデルを創出します。  
東京を代表するアートの祭典として、さらなる発展を続けます。
- 日時: 2011年(平成23年)3月26日(土)10:00 ~ 3月27日(日)18:00  
◎コアタイム 3月26日(土)17:57【日没】 ~ 3月27日(日)5:36【日の出】  
※コアタイムはメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。
- 開催場所: 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21\_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- 入場料: 無料(但し、一部の美術館企画展およびプログラムは有料)
- 主催: 東京都  
東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
六本木アートナイト実行委員会  
【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21\_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合】(五十音順)
- 特別顧問: 安藤忠雄、森佳子
- 公式ウェブサイト: <http://www.roppongiartnight.com>
- 一般問合わせ先: 03-5777-8600(ハローダイヤル) 受付時間: 年中無休 8:00~22:00

### 東京文化発信プロジェクトとは・・・?

東京文化発信プロジェクトは、世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造発信、芸術文化を通じた子供たちの育成、多様な地域の文化拠点の形成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。  
演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベント、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどの事業を展開しています。

### 報道関係の皆様からのお問い合わせ先

六本木アートナイト実行委員会 プロモーション・PR事務局  
(株式会社サニーサイドアップ内) 担当: 山下(080-3535-9059)/今井  
TEL: 03-6894-3200/FAX: 03-5413-3050/MAIL: r-artnight@ssu.co.jp

# 六本木アートナイト2011 広域プログラム

## 草間彌生

### 「愛はとこしえ、未来は私のもの！」

水玉と網目をういた幻想的な絵画や彫刻で知られる前衛芸術家の草間彌生が、六本木アートナイト2011のため新作プロジェクト「愛はとこしえ、未来は私のもの！」を発表します。メインとして新作「ヤヨイちゃん」が六本木ヒルズアリーナに登場します。「ヤヨイちゃん」は未来を夢見る幼少時、そしてまた同時に現在の草間自身の姿でもあり、「未来は私のもの！」と宣言する平和と希望のシンボルとして制作されます。

この他、東京ミッドタウン、国立新美術館、六本木のストリートなどの各所にも草間ワールドが展開される予定です。

#### 草間彌生プロフィール

前衛芸術家、小説家。幼少より水玉と網目をういた幻想的な絵画を制作。1957年単身渡米、独創的な作品と活動はアート界に衝撃を与え前衛芸術家としての地位を築く。帰国後も全世界を飛び回り活躍中。小説、詩集なども多数発表。1983年、小説「クリストファー男娼窟」で第10回野性時代新人文文学賞受賞。2000年、第50回芸術選奨文部大臣賞、外務大臣表彰。2001年、朝日賞。2003年フランス芸術文化勲章オフィシエ、長野県知事表彰(学術芸術文化功労)。2004年、信毎賞。2006年、ライフタイム・アチーブメント賞(芸術部門)、第18回高松宮殿下記念世界文化賞絵画部門受賞、2009年文化功労者。今年、欧米巡回個展が予定されている。

#### 草間彌生メッセージ

わたしの愛のすべては  
未来への希望で一杯だ  
わたしは永遠に生きてゆくのだ  
それは宇宙の果てまでも  
もっともっと愛よつもれ  
わたしの五体を包んで  
天空の彼方までも生きながらえて  
世界中、平和と希望でとわに  
生へののぞみと讃歌で一杯にしよう  
わたし大好き、ととても大好きなの  
一瞬ごとに希望がやってくるからの  
みんなみんなもとても  
大好きなの



©YAYOI KUSAMA



※新作イメージ画像

### 「六本木アート御輿プロジェクト」

桜を待ち望むこの弥生、六本木の街中に、アートなお御輿が繰り出します。

気鋭のアーティストたちが六本木の住人達と一緒にアートな御輿をつくり、みんなで担いで六本木の街を練り歩きます。アート作品の制作に関わり、自分もパフォーマンスの一部となることのできる、参加型のアートです。参加作家：Antenna、KOSUGE1-16ほか

会場：旧三河台中学校跡地、東京ミッドタウン、国立新美術館、六本木ヒルズ、六本木の街中など

※参加方法などの詳細は後日ウェブサイトにて公開



ミコシ巡幸(広島アートプロジェクト2008)

Antenna 2008

#### Antenna(アンテナ) <http://www.antennakyo.com>

2002年結成、京都を拠点に活動するアーティストグループ。日本の歴史と文化より着想し、多様なメディアを用いて創作活動を行う。“JAPPY/ジャッピー”というオリジナルキャラクターをモチーフに、日本人にとって普通だとされている物事に目を向け、そこに内在する真理、価値、幸福についてアートを通して問いかけている。

#### KOSUGE1-16(コスゲイチノジュウロク) [http://homepage.mac.com/kosuge1\\_16/](http://homepage.mac.com/kosuge1_16/)

土谷享、車田智志乃の二人組のアーティストユニット。2001年に活動開始。日常的に存在する、環境や現象、人のつながりを独自に読み解き、アクションをおこし、様々な社会問題を孕みながらもそれらをポジティブに読み替えるプロジェクトに取り組んでいる。

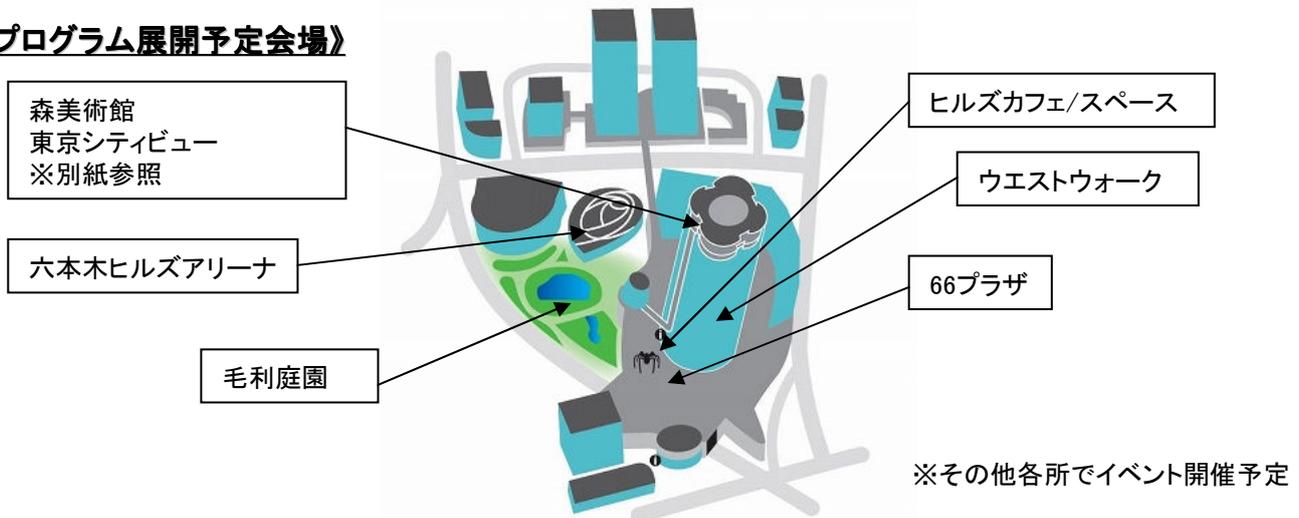
#### 報道関係の皆さまのご連絡先

六本木アートナイト実行委員会 プロモーション・PR事務局  
(株式会社サニーサイドアップ内) 担当: 山下(080-3535-9059)/今井  
TEL: 03-6894-3200/FAX: 03-5413-3050/MAIL: r-artnight@ssu.co.jp

# 六本木アートナイト2011 六本木ヒルズプログラム

六本木ヒルズ内の各所に様々なアーティストが一夜限りの非日常的な世界を演出します。六本木ヒルズ内のショップや飲食店は、営業時間を延長予定です。また、東京シティビューはオールナイトでオープンしていますので、六本木の夜景はもちろん、日の出も楽しむことができます。いつもと違う六本木の夜を体験することのできる貴重な機会です。

## 《プログラム展開予定会場》



## 《六本木アートナイト2011特別プログラム》

六本木ヒルズでは、例年通り、アーティストが街の各所に大型のインスタレーション作品を展開します。街角に出現する数々のアート作品とともに、発見と驚きの一夜をご提供します。

※作家、作品は都合により変更される場合がございます。ご了承ください。

### <過去の作品事例>



タムラサトル  
《スピंकロコダイル》



ホアン・スー・チエ《オーガニック・コンセプト》



久野ギル《The Antmaster》

### ■深夜のトークセッション「Photographic Conversations in Roppongi Art Night」

2011年4月に1990～2010年までの日本現代写真の動向をまとめた書籍『東京派: NEW DIRECTION OF PHOTOGRAPHY』が東京と台湾で同時発売になります。本書に掲載される蜷川実花、鈴木理策、長島有里枝(すべて予定)などの若手作家のプレゼンテーションを行います。また第2部ではキュレーター・Charlotte Cottonが編集した『WORDS WITHOUT PICTURES』の日本版発行を記念し、若手批評家、後藤繁雄らによる公開編集会議を開催します。

- ・日時: 3月26日(土)22:00～26:00
- ・場所: WIRED CAFE 六本木ヒルズ店

### ■マンガ・アニメ・ゲーム・メディアアートについて語る「メディア芸術クロストーク」

- ・日時: 3月26日(土)24:00～29:00
- ・場所: アカデミーヒルズ49 (六本木ヒルズ森タワー49階)

### ■東京シティビュー(展望台)のオールナイト開館

・3月26日(土)10:00～27日(日)6:00まで開館時間延長、26日(土)24:00～27日(日)6:00までの時間に限り入館料1,000円(予定)(森美術館にも入館可能。その他時間帯は通常通り一般1,500円)

### ■ショップ、カフェ、レストラン、森アーツセンターギャラリー、ミュージアムショップの営業/開館時間延長

《六本木ヒルズ 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地: 東京都港区六本木6-10-1

TEL: 03-6406-6000(インフォメーションセンター)

<http://www.roppongihills.com>

# 六本木アートナイト2011 森美術館プログラム

3月26日(土)10:00～翌朝6:00まではオールナイトで開館致します。通常は入ることのできない夜間の雰囲気の中で展示を楽しむだけでなく、六本木アートナイトならではのイベントも実施予定です。

## 《六本木アートナイト2011特別プログラム》

### ■オールナイト開館

- ・3月26日(土)10:00～27日(日)6:00まで開館時間延長
- ・3月26日(土)24:00～27日(日)6:00までの時間に限り入館料1,000円(予定)  
(東京シティビューにも入館可能。その他時間帯は通常通り一般1,500円)

### ■ギャラリートーク

森美術館スタッフが、開催中の「フレンチ・ウィンドウ展」の作品解説を行います。

- ・日時: 3月26日(土)、3月27日(日)複数回実施予定
- ・場所: 森美術館展示室内(森タワー53階)

### ■シンポジウム「『東京アートウィーク』から東京の文化発信を考える」(仮称)

2011年春に、首都圏の美術館、ギャラリー、アートセンターそしてアートフェアなどが様々な展覧会やアートイベントを催し、アートを通して東京のアイデンティティを発信する「東京アートウィーク」が初めて開催されます。本シンポジウムでは文化発信のあり方やそれぞれの個性を独自に伸ばしながら協調し、アイデンティティ作りを行う都市創造のあり方の有効性や独自性について討論し、2012年以降の展開について模索します。

- ・日時: 3月26日(土)時間未定
- ・場所: アカデミーヒルズ49
- ・登壇予定者: 南條史生(森美術館館長)、今村有策(東京都参与)、  
中村政人(東京芸術大学准教授/3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター)ほか

### ■連続トーク「20×4 Dialogue: アートとウェブを語る20人と4時間」(仮称)

20人のオピニオンリーダーが、アート、メディア、ビジネス、カルチャー、グローバル、日本などについて、20人のオピニオンリーダーが多様な視点でウェブとアートの未来を語る4時間です。参加者も巻き込むリレートークイベントです。

- ・日時: 3月26日(土)時間未定
- ・場所: 未定

## 《期間中の展覧会》

### 「フレンチ・ウィンドウ展:デュシャン賞にみるフランス現代美術の最前線」

「フレンチ・ウィンドウ展」は、フランスのコレクター団体ADIAFが主催する「マルセル・デュシャン賞」の設立10周年を記念して開催されます。会場では同賞のグランプリ作家に加え、一部最終選考作家とデュシャン本人を含む29名のアーティストを一挙に紹介します。

本展を通じて、「フランスの空気」を体感し、背景にある歴史や社会、文化への関心を喚起させる機会を提供するとともに、日本における公立美術館や公的機関と、民間の美術館、画廊やコレクター等との「協働の可能性」をも探ります。

- ・開催期間: 3月18日(金)～7月3日(日)
- ・開館時間: 10:00～22:00  
[火曜のみ 10:00～17:00、5月3日(火)は22:00まで]  
※3月26日(土)は翌朝6:00まで
- ・入館料: 一般1,500円、3月26日(土)24:00～27日(日)6:00までの  
時間に限り入館料1,000円

<同時開催>MAMプロジェクト014:田口行弘



フレンチ・ウィンドウ展:  
デュシャン賞にみるフランス現代美術の最前線  
マルセル・デュシャン 《フレッシュ・ウィドウ》  
所蔵: 広島市現代美術館

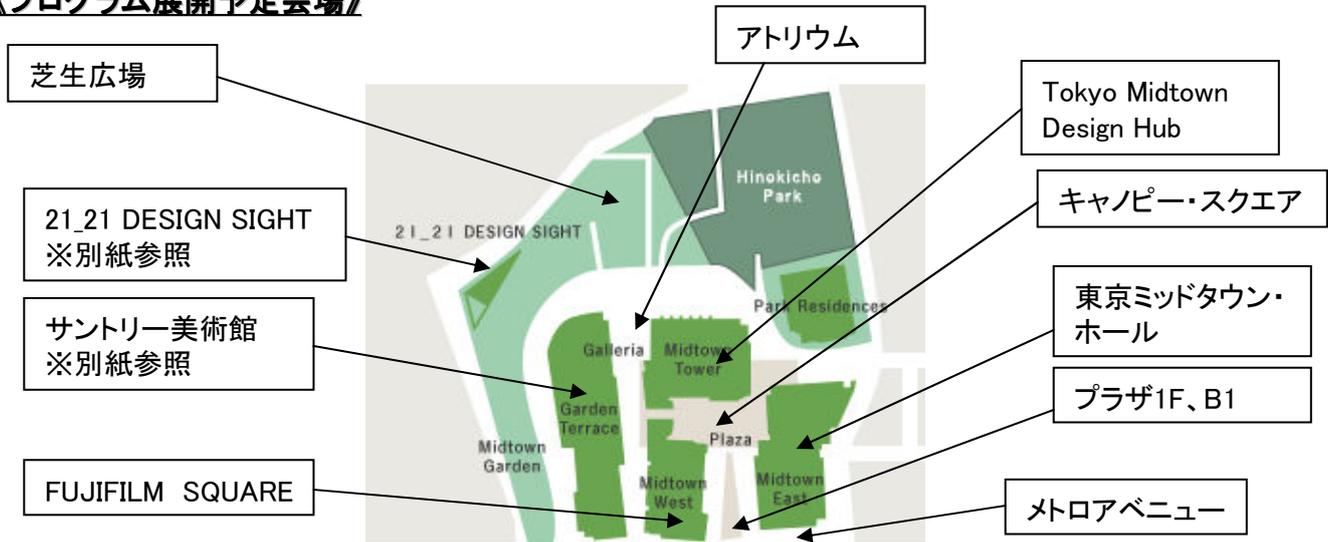
### 《森美術館 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地: 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 53階  
TEL: 03-5777-8600(ハローダイヤル)  
<http://www.mori.art.museum>

# 六本木アートナイト2011 東京ミッドタウンプログラム

東京ミッドタウンでは街のあちこちで、夜通しイベントを開催致します。映像や音楽がミックスされ賑わう会場やパフォーマンスにより、アートナイトの夜を更に盛り上げます。また、大人だけでなく、家族やお子様にもお楽しみいただけるように、子供向けのワークショップも開催予定です。

## 《プログラム展開予定会場》



## 《六本木アートナイト2011特別プログラム》

### ■Mid-Space

新たな取り組みを見せているアーティスト/クリエイター/パフォーマーが集結します。幅広い表現活動がMIXされたアートパフォーマンスを繰り広げます。東京が世界に誇る、次世代の才能と熱気、そして表現活動の未来への躍動を体感していただける、特別な内容になっています。

- ・日時: 3月26日(土)19:00 ~ 27日(日)5:30 (予定)
- ・場所: アトリウム
- ・参加アーティスト: 西島千博(バレエダンサー、演出・振付家)、関和亮(映像作家) など 他多数
- ・入場料: 無料 ※会場状況により、入場制限を行う場合があります。



西島千博

### ■Tokyo Midtown KIDS ART PROGRAM (仮称)

アーティスト・クリエイターによる子供向けのワークショップなど、子供たちがアートに触れる場をご提供します。

- ・日時: 3月26日(土)11:00~17:00 (予定)
- ・場所: アトリウム ※会場状況により、入場制限を行う場合があります。



イメージ画像

### ■Midtown Street Museum

Tokyo Midtown Awardから生まれたアーティストたちが、東京ミッドタウンのストリートにアート作品で彩ります。ソシエテ ジェネラル Chinese Art Awardの東京展とのコラボレーション企画です。両アワードの審査員によるトークイベントも同時開催。

- ・日時: 3月26日(土)10:00~27日(日)18:00(予定)  
※トークイベント 3月26日16:00~18:00(予定)
- ・アーティスト: 平田創、福本歩、小松宏誠ほか
- ・トークイベント: 清水敏男ほか
- ・場所: PLAZA B1Fメトロアベニューほか



### ■ショップ・カフェ・レストランの特別サービス

スペイン・バル「BATSU」 営業時間を延長し、「Tokyo Midtown Award 2008」デザインコンペ審査員特別賞受賞の「富士山グラス」でビールをご提供します。このほか、「スターバックス」「ヤオ\_エスタブリッシュ」などで営業時間の延長や特別メニューを予定しています。

《東京ミッドタウン 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地: 東京都港区赤坂9-7-1 ほか  
TEL: 03-3475-3100(東京ミッドタウン・コールセンター)  
<http://www.tokyo-midtown.com>

# 六本木アートナイト2011 サントリー美術館プログラム

2011年に開館50周年を迎えたサントリー美術館。これを記念した展覧会とアートナイトという特別な日が重なるこの機会に、日本美術や古典芸能に触れることのできるプログラムを実施予定です。

## 《六本木アートナイト2011特別プログラム》

### ■3月26日(土)に限り、23時まで開館延長

■3月26日(土)、27日(日)は「六本木アートナイト2011」割引で、一般および大学・高校生は、入館料一律500円

### ■津軽三味線ライブ「あべや 六本木アートナイトスペシャル！」

津軽三味線民俗音楽ユニット「あべや」と民謡歌手・根本麻耶による邦楽ライブ。若手実力派の熱演をお楽しみいただける、特別なライブです。

- ・日時: 3月26日(土)15:00~15:45
- ・場所: サントリー美術館6階ホール
- ・出演: あべや[阿部金三郎、阿部銀三郎](津軽三味線)、根本麻耶(唄)
- ・参加料: 無料(別途要入館料)  
申込不要(当日整理券配布)  
※整理券配布方法等の詳細は2011年3月頃に告知します。

### ■トークライブ「山下裕二が訊(き)き出す サントリー美術館秘話」

サントリー美術館の企画を30年来見続けてきた山下氏が、コレクションや美術館の歴史の裏側にスポットを当て、サントリー美術館の裏の裏まで訊き出します。

- ・日時: 3月26日(土)19:00~20:30
- ・場所: サントリー美術館6階ホール
- ・出演: 山下裕二氏(美術史家/明治学院大学教授)、石田佳也(サントリー美術館学芸部長)
- ・聴講料: 無料(別途要入館料)  
申込不要(当日整理券配布)  
※整理券配布方法等の詳細は2011年3月頃に告知します。

### ■アートナイト フレンドリートーク

こどもから大人まで楽しめるやさしい展示解説を実施します。

- ・日時: 3月27日(日)11:00~11:20、14:00~14:20
- ・場所: サントリー美術館6階ホール
- ・参加料: 参加無料(別途要入館料)  
申込不要



国宝 浮線綾螺鈿蒔絵手箱  
鎌倉時代 13世紀  
サントリー美術館蔵

## 《期間中の展覧会》

### 開館50周年記念『美を結ぶ。美をひらく。』I

### 夢に挑む コレクションの軌跡 —新収蔵品初公開と名品勢揃い

サントリー美術館は1961年に開館し、2011年に50周年を迎えます。これを記念した企画展の第一弾として、世相の移り変わりの中、都心の街角で展覧会活動を重ねてきたサントリー美術館の、コレクションの成長と歩みをご紹介します。当館の選りすぐりの名品とともに、雪舟や若冲など新収蔵品約20件を初公開し、美術館のこれからの可能性もご覧いただけます。

- ・開催期間: 3月19日(土)~5月22日(日)
- ・開館時間: [日・月・祝]10時~18時 [水~土]10時~20時  
※いずれも最終入館は30分前まで  
※ただし、3月26日(土)は「六本木アートナイト2011」のため23時まで開館  
3月20日(日)、4月29日(金・祝)、5月1日(日)~5月5日(木・祝)は20時まで開館  
※shop×cafeは無休 11時~20時
- ・入館料: 一般1,000円、大学・高校生800円、中学生以下無料  
※3月26日(土)27日(日)は「六本木アートナイト2011」割引一律500円



鼠草子絵巻(部分)  
桃山時代 16世紀  
サントリー美術館蔵

《サントリー美術館 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地: 東京都港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階

TEL: 03-3479-8600

<http://suntory.jp/SMA/>

# 六本木アートナイト2011 21\_21 DESIGN SIGHT プログラム

21\_21 DESIGN SIGHTは、通常20時閉館のところを朝の5時までオールナイトで開館致します。また、開催中の展覧会「倉俣史朗とエットレ・ソットサス」展のディレクターによる「ギャラリーツアー」などのイベントも実施予定です。

## 《六本木アートナイト2011特別プログラム》

### ■オールナイト開館

3月26日(土)はオールナイトで開館延長します。3月27日(日)の5:00まで開館します。  
(最終入場は4:30まで)

### ■展覧会ディレクターの関 康子によるギャラリーツアー

「倉俣史朗とエットレ・ソットサス」展ディレクターの関 康子によるギャラリーツアー。倉俣史朗とエットレ・ソットサスの夢と愛にあふれた半生と仕事、そして彼らが活躍した80年代のデザインを独自の視点から丁寧に解説します。展覧会をより深く理解していただくためのポイントや、より楽しんでいただくための見どころも紹介。今なお新鮮な二人の世界に触れられる、絶好の機会です。

- ・日時: 3月26日(土) 時間未定
- ・入場料: 無料(別途要入館料)



関 康子

### ■スペシャルギフト贈呈

3月26日(土)、20時以降にご入館のお客様には、21\_21DESIGN SIGHTオリジナルのスペシャルギフトを進呈します。※数に限りがございますので、ギフトがなくなり次第終了とさせていただきます。

## 《期間中の展覧会》

### 「倉俣史朗とエットレ・ソットサス」展 夢見る人が、夢見たデザイン

本展は、20世紀を代表し、今もなお人々を魅了してやまないデザイナー 倉俣史朗、そしてイタリアデザイン界の巨匠 エットレ・ソットサスによる夢と愛のデザインの世界を表現します。

特に、「メンフィス」を通して二人の交流が深まった1981年という年に着目し、倉俣作品は1981年から急逝する1991年までの家具など約60点、ソットサス作品は最晩年に残したドロイングをもとに、新たに制作された世界初公開のアートピース「カチナ」20点を紹介。夢と愛に満ちた二人の仕事から、限りなく自由に生き生きとした「デザイン」に改めて出会う、新鮮な体験をご提供します。

- ・開催期間: 2月2日(水)～5月8日(日) 休館日: 火曜日(5月3日は開館)
- ・開館時間: 11:00-20:00(入場は19:30まで)  
※3月26日(土)は翌朝5:00まで(入場は4:30まで)
- ・入館料: 一般:1,000円、大学生:800円、中高生:500円、小学生以下無料、15名以上は各料金から200円割引
- ・企画: 三宅一生
- ・展覧会ディレクター: 関 康子



倉俣史朗「ミス・ブランチ」1988年 椅子  
Photo: Hiroshi Iwasaki



倉俣史朗とエットレ・ソットサス  
1990年、日本にて  
Photo: Takayuki Ogawa



エットレ・ソットサス「カチナ」1997年  
Photo: Erik & Petra Hesmerg-Amsterdam,  
The Gallery Mourmans-Lanaken

《21\_21 DESIGN SIGHT 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地: 東京都港区赤坂9-7-6 東京ミッドタウン・ガーデン内

TEL: 03-3475-2121

<http://www.2121designsight.jp>

# 六本木アートナイト2011 国立新美術館プログラム

昨年のアートナイトで大好評だったアーティスト・トークを今年も開催します。展覧会を見て、さらに出品作家の生の声を聞くことができる貴重なイベントです。また、注目のアーティストによるスペシャルパフォーマンスも実施予定です。

## 《六本木アートナイト2011特別プログラム》

■3月26日(土)は22時まで開館延長(通常は18時まで)

### ■国立新美術館 アーティスト・トーク

「アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち」展出品作家の鬼頭健吾と松江泰治によるアーティスト・トークを実施します。

- ・日時: 3月26日(土)19:00~20:30
- ・場所: 国立新美術館1階ロビー
- ・入場料: 無料

### ■国立新美術館 TOKYO ANIMA! 2011

若手映像作家のアニメーション作品の上映会(26日、27日)や、作家を交えてのシンポジウム(26日17時~)を開催します。

- ・日時: 3月26日(土)~3月27日(日) ※日時は予定です。
- ・場所: 国立新美術館3階講堂
- ・入場料: 無料
- ・主催: TOKYO ANIMA!実行委員会、国立新美術館
- ・定員: 各回260名

### ■立体作品屋外展示

「アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち」展の出品作家・鬼頭健吾による作品の屋外展示を行います。

- ・日時: 3月26日(土)10:00~27日(日)18:00
- ・場所: 国立新美術館屋外テラス

その他スペシャルパフォーマンスも実施予定です。

## 《期間中の展覧会》

### 「アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち」

国立新美術館が毎年開催する「アーティスト・ファイル」展は、国内外でいま最も注目すべき活動を展開している作家たちを選抜し、紹介するアニュアル(毎年開催)形式の展覧会です。第4回目となる今回の展覧会は、日本人作家4名に、海外作家4組という、国際色豊かな顔ぶれによって構成されます。

- ・開催期間: 3月16日(水)~6月6日(月) ※火曜日休館(5月3日のみ開館)
- ・開館時間: 10:00~18:00、(金)は~20:00、3月26日(土)は~22:00  
※いずれも入場は閉館の30分前まで
- ・入館料: 当日券: 一般1000円、大学生500円、高校生以下無料  
※3月26日(土)に限り無料
- ・出品作家: クリスティン・ベイカー、バードヘッド、タラ・ドノヴァン、  
岩熊力也、鬼頭健吾、松江泰治、ビョルン・メルフス、中井川由季



アーティスト・ファイル2011展:  
ビョルン・メルフス  
《夜番|ナイトウォッチ》  
2010年ビデオ・インスタレーション  
©Bjørn Melhus

### 「シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—」

国立ポンピドゥセンターの膨大なコレクションの中から、絵画、彫刻、オブジェ、素描、写真、映画などの作品約170点に、書籍や雑誌などの資料を加え、豊かな広がりを持った20世紀最大の芸術運動シュルレアリスムの全貌をつぶさに紹介する展覧会が初めて実現しました。

- ・開催期間: 2月9日(水)~5月9日(月) ※火曜日休館(5月3日のみ開館)
- ・開館時間: 10:00~18:00、(金)は~20:00、3月26日(土)は~22:00 ※いずれも入場は閉館の30分前まで
- ・入館料: 当日券: 一般1500円、大学生1200円、高校生800円、中学生以下無料
- ・出品作家: ジョルジョ・デ・キリコ、マックス・エルンスト、マルセル・デュシャン、ルネ・マグリット、  
フランシス・ピカビア、ジョアン・ミロ、サルバドール・ダリなど

## 《国立新美術館 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地: 東京都港区六本木7-22-2  
TEL: 03-5777-8600(ハローダイヤル)  
<http://www.nact.jp/>

# 六本木アートナイト2011 六本木商店街プログラム

六本木アートナイトで街を彩るフラッグのコンテストは今年で3回目です。入選作品のフラッグがアート作品と共に、街を彩ります。

## 《六本木アートナイト2011特別プログラム》

### ■六本木デザイナーズフラッグコンテスト2011[交差点]

アート&デザインのまちづくりプロジェクトの一環として、3回目を迎えるデザイナーズフラッグ・コンテスト2011のテーマは「交差点」です。全国のデザイナーの皆さんから公募したフラッグデザインを、六本木ゆかりの長友啓典氏、葛西薫氏、廣村正彰氏からなる審査委員会が審査をします。入選した137の作品を、六本木商店街の街路灯フラッグとして一挙に掲出し、全国のデザイナーから選ばれた作品が六本木の街を彩ります。それぞれの気持ちのこもった街路灯フラッグが、アートで彩られた六本木の街とコラボレーションします。



第1回の実施風景画像

### ■第3回六本木フォトコンテスト

「アートやデザインなど高感度な創造価値を発信する拠点」としての六本木。新しい街として、発展する六本木を歩き、ふと目に入った風景を写真に残してください。六本木を愛する写真愛好家の方から幅広く募集した作品を展示します。写真展開催予定(詳細未定)



第2回六本木フォトコンテスト入賞作品  
作品展実施の様



2010年グランプリ作品「好奇心」  
吉野宏映氏 撮影

### ■参加店舗の終夜営業や、営業時間の延長、スペシャルメニューを展開予定

《六本木商店街振興組合 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地: 東京都港区六本木5-5-1 ロアビル607号

TEL: 03-3401-9451

<http://www.ractive-roppongi.com>

## 六本木アートナイト2011 特別深夜対応

六本木アートナイトでは、深夜の時間帯も、安心してイベントに参加していただけるよう、周辺地域の店舗が多数深夜営業を実施します。

また、3月26日(土)の深夜から27日(日)の早朝にかけて、六本木と各主要ターミナル(渋谷、新宿、池袋、品川、東京、上野)を結ぶ無料シャトルバスを終夜運行するほか、ちいばすも昨年より路線を拡充し、通常より延長運行します。